# 学びあい

校長だより

２０２１年（令和３年）　９月　２７日
福山市立桜丘小学校　校長　岡田久仁子

## 俳句を楽しむ会　９月提出分紹介

９月に提出した俳句は，８６句でした。夏休み前に書かれたものから，夏休みや２学期になってのことなど，幅広い内容でした。

新田先生に「秋の季語」のプリントをいただき，各教室に貼っています。次回は１０月５日（火）です。みんなで色々なものを見つけて，俳句を作っていきましょう。

俳句まめ知識

今月の「小林一茶賞」に

・**満月の夜ベランダにて　星と共に**　　６年Ｉさん

こんなふうにきちんと五七五になっていない句を破調の句と言い、内容がよければ、それでよいとされることもあります。

「満月の　夜はベランダに　星と共に」　とあらわすこともできます。俳句では、上五と下五は、一音多くても大丈夫です。中七は、厳守とされています。

七月の句

**松尾芭蕉賞**

せみとりで　ふくにのせたら　とんでった　一年Ｙ

季語　一つと五・七・五のリズムがよい。

つかまえたせみを　Ｙさんのきているふくの上にのせてみたら、とんでいってしまった。びっくりしたでしょうね。

そのときのことを、とてもうまく句にしています。せみのとびたったようすまで見えてくるようです。よい句ができましたね。

なつのむし　くさはらとんで　すずしげな　三年Ｋ

五・七・五のリズムがよい。

青々とした草原の上を夏の虫がとんでいる。

もしかして、キリギリスがバッタでしょうか。その草原をとぶようすが、すずしげだったここが、なんともすばらしいところ。その情景をじつにうまく表現しています。広々とした草原をとんで行く虫。みごとな描写と言えます。

七夕の　日くれて見える　大三角　　四年Ｏ

五・七・五のリズムがよい。

発見したことをずばりととらえての描写。大景を実にのびのびと表現した見事な　一句です。

七夕の日ぐれて見える」この表現のうまさには驚きました。

**松尾芭蕉賞　つづき**

ただ、「大三角」は、俳句では　夏の大三角」として夏の季語とします。織姫星(ベガ)、彦星(アルタイル)、白鳥座の尾に輝く(デネブ)、この三つの星で、夏の大三角」を形作っています。

七夕の夜は、織姫と彦星が年に　一度会える時。天の川の両岸できらめき合うと言う伝説がありますよね。

太陽が　みおろしてくる　夏の朝　　六年Ｗ

季語　一つと五・七・五のリズムがよい。

この句のよいところは、なんと言っても　みおろしてくる」。よくわかるような気がします。

山の上にだんだんと登ってくる大きな太陽が顔を見せたさまは、いかにも町中を見下ろして来ると言う感じですよね。

スケール感があり、どこか迫力すら感じさせる見事な句です。

**小林　一茶賞**

なつがきた　セミのなきごえ　いいねいろ　一年Ｋ

すいれんは　きれいにさくよ　なつのかぜ　一年Ｋ

いわしはね　むれでおよぐよ　いっせいに　一年Ｍ

みずあそび　ホースの中から　白いつぶ　三年Ｈ

**小林　一茶賞　つづき**

ほたるがり　光うごめく　美しい　　四年Ｙ

ぼんおどり　やぐらの下で　みなおどる　四年Ｔ

ほたるがり　暗い夜道が　明るいな　　四年Ｎ

夏休み　楽しみすぎて　ねれないな　　六年Ｙ

満月の夜ベランダにて　星と共に　　六年Ｉ

**正岡子規賞**

はなのくちなしのはな　たのしくさいた　一年Ｍ

あおりんご　いろがちがうけど　おいしい　一年Ｍ

はんずぼん　むしにさされて　かゆすぎる　一年Ｙ

夏のよる　ミンミンとなく　セミのこえ　一年Ｍ

すいかわり　めかくししたら　はずれたよ　一年Ｔ

夏の夜　きれいな星が　かがやいた　　三年Ｏ

夏休み　外で遊ぶと　顔赤い　　三年Ｏ

ふうりんが　ゆれればかぜが　きたしょうこ三年Ｕ

ささの葉　ひらひらゆれる　ねがいごと　四年Ｏ

夏の空　大三角が　きれいだな　　四年Ｉ

おりひめと　ひこぼしつなぐ　さんかくだ　四年Ｍ

ころもがえ　きせつにあわして　うれしい　四年Ｙ

正岡子規賞つづき

七夕は　わいわい遊ぶ　楽しいな　四年Ａ
なつやすみ　一か月の　しゅくだいだ　四年Ｋ

かんこくに　はやくいきたい　かぞくたち　六年Ｙ
夕やけの　富士山輝く　夏の空　六年Ｉ
学校は　友達などと　話す場所　六年Ｙ
梅雨終わり　太陽照って　快晴だ　六年Ｏ

校外の部

かえるさん　シューズの中で　お昼ね中　三年Ｉ

大人の部

たいふうは　ひとのこころも　うばいさる　教Ｏ
水とうを　真っ赤な顔で　カラコロと　教Ｍ
散水で　虹のいろどり　はしゃぐ子ら　教Ｆ
酔芙蓉　朝のミルクと　夜のワイン　教Ｓ
掘りたてを　くれる伯父の手　日焼けあと　教Ｙ
山青し　父の煙が　とけてゆく　教Ｏ

私事ですが、父が八月に亡くなりました。
ＰＴＡよりお心遣いをいただきました。
お礼を申し上げます。

９月１日から分散登校にご協力いただき，ありがとうございます。
いろいろな行事が，中止・延期となり，ご迷惑をおかけしております。
午前・午後の登校，家庭でのオンライン学習に関わって，保護者の皆様のお仕事や生活リズムも普段とは違うものになり，大変な１か月だったと拝察いたします。登下校の安全も地域・保護者の皆様に見守っていただいております。
児童にも，職員にもアンケートをして，集約しました。たくさんできないことがあってストレスが多い反面，タブレットが上手になったり，家庭にある誘惑に負けずに，学習を頑張ったりしていることがわかりました。
「人生に無駄な経験は何もない。」と言われます。分散登校をしなくてもよかった学校に比べて，苦労が多かったかもしれません。しかし，今回，オンライン授業をした経験は，きっと，子ども達にも先生にも，何かの力になっているはずです。そう言っている私も，５年生に助けられながら，理科のオンライン授業にデビューしました。「赤・青・黄」のカードで「はい・いいえ・注意」の意味付けをして授業で使っています。「みんなが参加して話し合える場は，そこにいる皆の参加意識がないと成立しない」と当たり前のことを実感しました。
アンケートに「with コロナの生活リズムをもっと整える。」「我慢ではなく，発想を変えて，心を軽くする。」「できることを工夫し，楽しいことをふやす。」という意見がありました。私もこのような考えができるように頑張りたいと思いました。